



春闘

2018

この間を振り返ろう!

満額獲得するぞ!①

昨年の春闘は・・・会社の出し渋り!

2017春闘において、東日本ユニオンは「社員一律6,000円のベア」を柱に要求しました。しかし会社回答は、「定昇実施係数4、社員一律1,000円ベア、グリーンスタッフの基本賃金に500円加算」というものでした。

その理由として「先行き不透明」「他企業からの突出感を出したくない」「管理手当等の改善をしていく」ということでした。明らかに、ボーナスを含め賃金の出し渋りをしていると言わざるを得ません。この30年間で会社の経常利益は4.2倍、当期純利益は8.3倍。一方、社員の基本給は1.4倍というデータもあります。人件費はピーク時から約2,000億円も減少しています。仮に要求のベア6,000円を実施したとしても、会社の持ち出しは年間70億円(試算)です。十二分に出せます!

これを出し渋りと言わず何というのでしょうか!

2018春闘情勢・・・ベアに追い風



2018春闘は、政府が企業に賃上げ3%以上を求め、5年連続官製春闘としてスタートしました。1月22日23日に開催された労使フォーラムにおいて、経団連側は年収ベースでの賃上げ3%や働き方改革等を主張し、労働側である連合は定昇とベアによる月例賃金4%アップを主張しています。

JR東日本では、2月に開催される各労働組合の定期中央委員会で方針が決定し会社に要求して本格スタートします。東日本ユニオンは、賃金引上げにおける会社の壁を打破するため、「JR労働者の力の結集」必要であると認識しています。

また、東日本ユニオン新潟地本では、HPにおいて春闘の基本的知識や情勢についてアップしています。ぜひ、ご覧ください。➡



しっかり声を出し、要求満額を実現しましょう!